



広い宇宙の中に、「Iriso」という歴史ある名前の星が誕生

7月6日(土)入曾公民館で、小惑星「Iriso」が誕生したことを記念して、命名した子ども達(12名)の表彰式と記念講演会が行われました。



これは、青少年入曾地域会議が小惑星の命名権を保有するアマチュア天文家佐藤直人さん(北入曾在住)の協力を得て行った事業で、4月25日に国際天文学連合から正式に名前が承認されました。



表彰された子どもたちは「大好きな入曾という名前が選ばれ、星の名前になってうれしい」と目を輝かせていました。



西中学校 吹奏楽部



こんにちは、西中学校吹奏楽部です。私たちは3年生11人、2年生23人、1年生24人の計58人で活動しています。現在は、コンクールに向けて一丸となって練習に取り組んでいるところです。定期演奏会も毎年開催していて、今年で34回めになりました。人として基本となるあいさつなど、教科書では学ぶことのできないことが学べる、やりがいのある部活です。

縁日の遊びをよくばり体験

7月14日(日)／縁日ごっこ(狭山市駅西口市民広場)

ふだんは市民交流センター内で活動しているちゃっぼ保育室が市民広場へ。ヨーヨーつりやくじ引き、的当てなど、みんなで楽しい時間を過ごしました。



これで夏休みの自由課題はバッチリ!

7月24日(水)／夏休みこども陶芸教室(柏原公民館)



子ども達は、カップなどを手びねりで成形。粘土の厚さの調整は、先生のサポートを受けながら、穴を開けないように慎重に…。完成が楽しみです。

狭山の今昔物語 Vol.29 — 防災訓練 —

市の防災訓練が初めて行われたのは、昭和48年8月のこと。火災やプロパンガスの爆発などを想定し、旧入間川小学校校庭で行われました。現在の防災訓練は、消火だけでなく、安否確認や炊き出し、ライフラインの早期復旧など、被害を最小限に食い止めるための総合的な訓練が実施されています。



三角バケツを使った初期消火訓練(昭和48年)



昨年の防災訓練。いざというときのために日ごろから備えを

夏休みを前に、水の抵抗を体で学ぶ

7月17日(水)／着衣水泳(新狭山小学校)

着衣のまま水に落ちた場合の対処法を学ぶため、1年生75名が授業の中で着衣水泳を体験しました。初めて長そでを着用してプールに入った子ども達は、ぬれたシャツの重さにびっくり!水の事故への注意を促す先生の言葉を真剣に聞いていました。

まずは、大好きな流れるプールに歓喜の声



水の中では、服を着ているとなかなか前に進めません

少年たちが考えている熱い思いを披露

7月14日(日)／狭山市青少年健全育成大会(市民会館)

小学6年生3名と中学3年生2名による少年の主張があり、命の大切さや大人になることへの思い、あきらめない心などが発表されました。いずれも力強いメッセージと最高学年としての自覚が感じられる内容で、会場の大人たちも真剣に聞き入っていました。



大勢の大人の前で堂々と発表ができました



あなたが写っていませんか?広報さやまに掲載した写真は、広報課で撮影したものでしたら無料で差し上げます。広報課までご連絡ください。

みんなで楽しむ、それが祭りの醍醐味

7月27日(土)／狭山台ふるさと祭り(狭山中央公園)

狭山台の夏の恒例行事「ふるさと祭り」が10回目を迎えました。地域の保育所や幼稚園、民謡同好会などの10団体が出演したこのお祭りでは、1年ぶりの再会を喜ぶ方々の姿も見られ、世代を超えた交流イベントとして、すっかり定着してきました。



和太鼓の音が会場全体に響き渡り、祭りは最高潮へ

収穫から調理まで…おいしさも倍増!

7月19日(金)／みんなでカレー作り(山王保育所)

年長(5歳児)クラスの19名が、自分たちで育てたジャガイモを使ってカレー作りに挑戦しました。野菜を洗って、皮をむき、おぼつかない手つきながらも、包丁を握る表情は真剣そのもの。でき上がったカレーは、何度もおかわりが出るほど好評でした。



暑さに負けず園庭のカマドで調理。待ち遠しくて園児たちの目は鍋にくぎ付け